

令和6年度第16回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和6年12月24日（火）9：30～9：45
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 福本教育長
正司委員 今井委員 山下委員 本田委員 吉井委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 0名（一般0名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（福本教育長）

それでは、教育委員会会議を始めます。

なお、本日、公共交通機関の乱れにより、正司委員と本田委員が途中からの参加になりますので御了解ください。

それでは、議題に入ります。本日は、協議事項3件、報告事項1件です。まず、非公開事項についてお諮りいたします。議題のうち、協議事項43については、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により、職員の人事に関する事。報告事項1については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして非公開としたいと思いますが、御賛同いただけますでしょうか。

（賛同）

（福本教育長）

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

協議事項42 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

（福本教育長）

協議事項42、令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について、事務局より説明をお願いします。

（藤井教科指導課長）

4月から7月にかけて、小学校5年生、中学校2年生を対象に記載の内容で調査を実施してございます。2. のとおり、合計点について、小・中の男女ともに昨年度より低下し

ていまして、小学校の女子と中学校男女は全国平均を下回っている状況でございます。小学校の男子については、全国平均と同等というところです。質問紙調査について、体育の授業、運動、スポーツに関する意欲関心は依然として高い状況でございます。

それぞれの詳細については、実技は2ページ以降、質問紙調査については4ページ以降に記載してございます。

今後の対応としては、体育の授業改善及び放課後の運動機会拡充というところに取り組み、体力向上につなげて参りたいと考えてございます。今回、速報という形で御報告させていただいていますが、1月の中旬以降に学校ごとの結果がそれぞれの学校に戻ってきますので、そちらをまとめて傾向の分析を行いたいと思います。また、学校によってはGIGA端末に体力の合計点を入力し、意欲的な取組を行うなど工夫を行っている学校もありますので、そういったところの分析も併せて御報告させていただきたいと考えてございます。

(福本教育長)

体力・運動能力、運動習慣等調査の結果ということで、速報ですが今年度の結果について御報告がありました。質問紙も資料の通りということですが、御質問等ございますか。

(今井委員)

それぞれが頑張って体力向上に取り組んでいただいて、この結果で何とか収まっているのかなと思っています。今後、学校ごとの結果が返ってきて、より分析、検証をしていただけということですので、体力や運動能力の向上に工夫しながら取り組んでいる学校と、なかなかそういう取組が進んでいないところを比較し、数字として違いが出ているのかどうか分析いただきたいと思います。また、今回の速報で種目別に見ますと、全国との数字の開きが特に気になる種目も幾つかありますので、そういう種目はもう少し遡って分析し、元々神戸市は弱いのか、あるいは例外的なのかななどの分析や検証も併せてお願いできればと思います。

(山下委員)

この年代はコロナ禍を挟んでいるので、全国的に少し低下傾向にあったのではないかと思います。その中でも特に政令市等で工夫されていて、結果が良好だったような事例がありましたら、また次回以降で結構ですので、教えていただければ大変ありがたいと思います。

(藤井教科指導課長)

学校ごとや地域ごと、あるいは大都市、中・小規模の都市と比較した形で、市内の学校でも取組が進んでいる学校とそうでない学校の比較等御報告させていただきたいと思います。

(正司委員)

確か去年は少し上がっていたので良かったという話をした覚えがありますが、残念ながら今年は全般的に少し下がってしまいました。コロナ禍が3年間ありましたし、その辺りは考慮しながら分析していただくようお願いしたいと思います。

(福本教育長)

他に御質問等よろしいでしょうか。

速報値という形で今日は出していただきましたので、また詳細の分析等よろしくお願ひします。

ありがとうございました。

それでは、次の案件に参ります。

協議事項 8 不登校支援の取組について

(福本教育長)

協議事項 8、不登校支援の取組について、事務局より説明をお願いします。

(芝田統括官)

まず、1. フリースクール等民間団体との連携についてです。教育機会を提供している民間団体との連絡会ということで、民間団体と教育委員会事務局、学校関係者で情報共有と意見交換を11月に行いました。参加者は民間団体33名と事務局16名、公的機関3名等でした。また、同日にフリースクール等情報交換会も行いまして、不登校傾向にある児童生徒の保護者と民間団体の情報交換会を行っております。ここでは民間団体34団体、保護者130名、学校関係者が50名程集まって、それぞれのブースにて情報の共有を行いました。

2. 学びの多様化学校についてです。来年の開校に向けて、今準備を進めているところでございますけれども、9月から10月にかけて「みらい体験」ということで、入学を希望している児童生徒が直接体験する場を各学年3日間実施しました。

それに引き続き、11月にみらい相談2ということで、相談、体験を終えた児童生徒、保護者を対象に、どのような支援が今後適切なものか、具体的に相談、助言を行いました。

(福本教育長)

なお、今後の方針に係る内容については、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして、後程非公開の場で協議したいと思っておりますがよろしいでしょうか。

(賛同)

(福本教育長)

ありがとうございます。

では、今後の方針以外の部分について御質問等ございますか。

(今井委員)

(1)の連絡会は定期的に行っていただいているかと思いますが、今回の連絡会の中で出た御意見や教育委員会に対する御要望等がございましたら、差し支えない範囲で教えていただきたいと思います。

(芝田統括官)

連絡会の中で、学校と民間団体等が連携している好事例について説明を行っていただきました。それぞれの団体にとっても学校にとっても横展開ができる良い機会になったのではないかと考えておりますし、そういった連携が今後も積極的に進んでいくような情報共有ができたと考えております。

(本田委員)

前回、多くの保護者の方が来られたということをお聞きしたと思いますが、今回130名が参加されたというのは、参加を希望された方全員に来ていただけた状況なのか、130名で締め切ったというような状態なのか、教えていただきたいです。

(芝田統括官)

今おっしゃっていただきましたように、昨年度このような会を設けまして、昨年度は500名を超える方が来られたということでした。今回も130名以上の方が希望されておりましたが、人数制限をしたというわけではなく、来られる方は来てくださいという形で案内したところ、当日は130名程度が来られたということでした。

(山下委員)

二つのタイプの会合を開催していただいて、本当にきめ細やかな情報収集や情報提供をしていただいていると思いました。非常に心強いです。いずれの会合にも、市立学校から先生方が御参加されたということですが、どのようなニーズがあって御参加されたのかなど補足情報がありましたら、この場でお答え可能な範囲で教えていただければと思います。

(芝田統括官)

開催しましたのが平日の授業がある時間帯ですので、例えば不登校担当教員等が都合をつけて来てくださったのかなと思っております。私もその場で何名かの教員と出会いましたが、自分の学校でもこの要望については勉強していかなければいけない、というような思いを持っている教員に積極的に参加してもらえたのかなと思っております。私たちからも、来ていただける学校や教員がいらっしゃるのであればどうぞ来てくださいという形でオープンに募集をかけたところ、このような状態だったというところでございます。

(山下委員)

二つの会合とも、先生方も非常に積極的に熱意を持って関わっていただいていることを改めて感じました。また、教育委員会としても情報提供や、あるいは研修の中に少しずつ織り込んでいくということも必要になってくるのかなと感じた次第です。ありがとうございます。

(福本教育長)

よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

公開案件は以上となります。

教育委員の皆様から、ほかに取り上げるべき事項について御意見はございますか。

それでは、本日の公開案件を終了いたします。

閉会 9 時 45 分